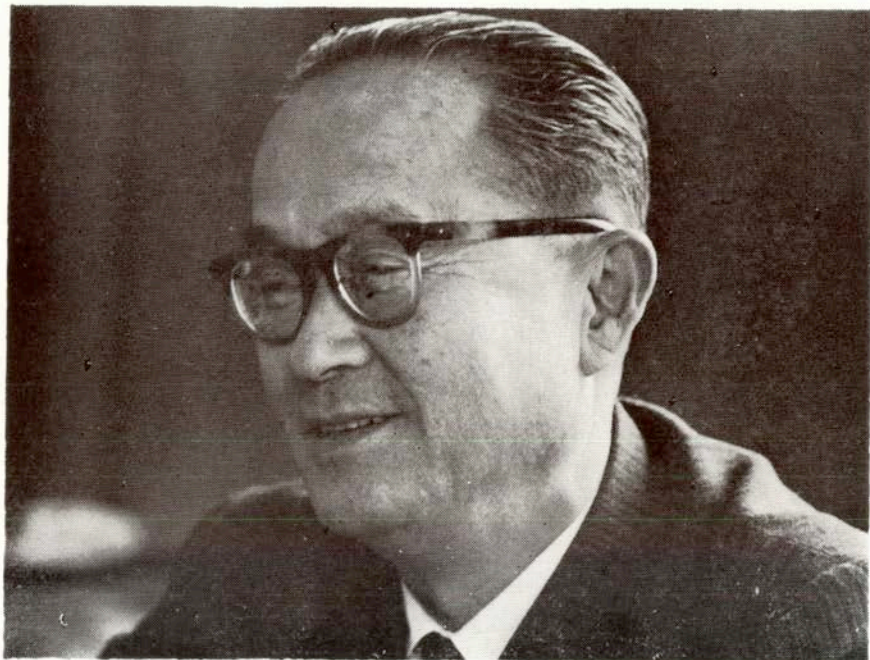


神戸っ子放談

# 神戸を豊かにしよう

山口泰弘



(地元を大切にしようと語る山口泰弘氏)

諏訪山・錨山は神戸の一つの象徴のようなものだ。港の波止場から山を振り向けばこの山がなだらかに街に流れているし、点在する洋館の屋根が何とも云えないエキゾチックな感じを添える。

神戸に初めて来た人を諏訪山に連れて行くと、殆んどの人がしばし茫然として箱庭のような神戸の街を飽かずに眺めている。

山口泰弘さんの家はこの諏訪山の中腹の洋館なのだそ

うだ。

「私は、京都っ子なんですがね。神戸ほどいいところは  
ありませんよ」といろいろと熱心に話された。

#### 神戸の生活は最高の環境

神戸の諏訪山からの眺めはね、とにかく飽きることの  
ない美しいものですよ。四季、春夏秋冬ももちろん趣が  
違っててね。朝、昼、夜とそれぞれ、その日の天候に  
従って景色が変わる。波風の激しいとき、静かな月夜、も  
やにつつまれた朝とー私は神戸の美しさを毎日満喫して  
います。こんな風光明媚なところってほかにありません  
よそれにね、食べ物がうまい、気候もいい、文化程度も  
高くて、私生活の天国なんですな。

東京と軽井沢ーそれに神戸と六甲と比較しても、六甲  
の方が数段すぐれているでしょう。

#### 山口畫伯と呼ばれた頃

「京都っ子」だというのは、京都で生れ、小学校から  
大学まで京都なのでね。同志社を卒業して、第一銀行の  
京都支店に入社したのがふり出しなんです。その頃か  
ら画が好きで、津田青楓（二科）に師事して、よく描き  
ましたよ……。

津田青楓は、日本画家なんです。河上肇に私淑し始  
めた頃から洋画もやるようになったんです。その青楓師  
が愛人と二人で、東山の鹿ヶ谷に住んでいて塾をひらい  
ていたんです。私はその第一回の塾生なんです。 「宮  
谷川忠磨、近藤悠二」などと一緒でした。当時は画家  
・山口としての方が有名だったんです。だから趣味は  
大切にする方ですよ。

しかし、趣味は一人で楽しみたいという性分なので、  
画をやっている、描くことを義務づけられるのは弱い  
んです。しかし、旅行にでもスケッチなど出来るのは楽  
しいものですよ。

#### 大企業も地元と遊離してはのびない……

京都から東京、横浜などについて、戦後、川崎重工に勤  
めるようになって、神戸に来たんです。

「川崎電機」というのは、川重の電気部が、一昨年独立

して出来たんで、車輛用・船舶用などの重電機の製造を  
しているんです。早く神戸っ子の皆さんにも馴染んで  
いただきたいと思っています。

幸い、いまは私も「神戸っ子」として、神戸の地元  
の方とは、親しくしていただいているんですが、どんな  
大会社でも地元と離れてしまつてはのびませんよ。

地元会社も大会社も緊密な連絡を保つて、一つの経済  
環境をととのえることが大切なんです……。それが神  
戸経済圏が良くなるということなんです。

#### 裏六甲にハイ・ウェイを……

先日、NHKの「朝のことば」で話したことなんです  
が、六甲を裏から、開発してほしいと思いますよ。裏六  
甲にハイ・ウェイを通して、姫路・西播までの路線を設  
ければ、六甲山は、そっくりそのまま、神戸市の中央・  
緑地帯になりますしね。大関西経済圏の港都として神戸  
が飛躍すると思うんです。

あの美しい、表六甲をけづけることは賛成できませんね。

#### 神戸にない文化施設

神戸礼讃に終始しましたが、文化都市といわれる神戸  
に、文化施設があまりにもな過ぎますね。美術館にし  
ても、もっといいものがあって当然だと思いますよ。

公会堂もないというのは無関心すぎるようですね……  
一番神戸らしい雰囲気をもっている海岸通りをもっと、  
整理してトラックなどの通過車は避けて、神戸の散歩道  
にしてはどうだろうね。こういった文化都市として必要  
な、文化・観光への配慮がほしいと思いますよ。  
特に、神戸は、国際的な港都なんですからね……。

外人の殆んどの人が日本での第一歩を踏むところなん  
ですから、折角のいいところを、もっと効果的に印象づ  
ける方がいいでしょう。また神戸の花隈といえは、いい  
意味で社交機関なんです。その花隈が低調過ぎるとい  
うのはあまり感心しませんよ。神戸繁栄のパロメーターの  
ようなものなんです。もっと大切にしたいと思いま  
すよ。  
(文責・小泉康夫)

川崎電機製造株式会社副社長・元経済同友会代表幹事

隨筆

# 虎の肝

古林喜楽



年越しがすぎると、はつきり丑から寅へうつるのだという。正月早々は寅年というても、まだ牛のよだれが残っていて、二月三日までの生れの人は、丑年の方に入るのであるらしい。私はみずのえ寅の生れてあるから、いよいよ今月から当り年の本番に入るといわけである。

私は生れつきいさかさかあまのじゃくみたいなところがあるのかどうかは知らないけれども、年賀状も通り一べんのは、どうもピンと来ない。そこで例年のことながら、今年も少しは新機軸を出してみようと試みた。狂歌を添えたことは毎度のことながら、謹賀新年ではあまりにも月並みであるので、謹賀壬寅年として、来年にお古(ふる)を使うようなミミツちいことができないうにした。年末の十二月にさし出しておきながら、元旦の日付けにするのでは、真っ赤なうそのかんばちひやけのなすびになる。正月早々嘘をつくようなことは縁起でもあるめエというわけで、正直に「元旦以後のある日」とした。元旦には私は年賀状を絶対に書かないし、又千客万来で書くにもそのいとまがないからである。

さて年賀状の狂歌というのは、

寅年が寅年生れに戻りけり

なほ走りみん千里の敷を

(意気けんこう如斯)

遷厝と言はれる気持ち湧きもせて

自然年令ひとり先きゆく

(肉体年令と精神年令とは、

まァーだ、まァーだ)

虎(トラ)と虎(トラ)！虎は虎でも、？の虎！

さて、私が寅年生れであるというので、ある日電話がかかって来た。「先生これからお祝いに、虎のキモをもってゆきますヨ」。

家内がたまげて「ちよいとあんた、虎の肝をもってくるのだからってさ、こんなのもらったってどう料理するのよ」という。

姐ちゃんがそれを聞いて笑いこけながら、又言うのには「たださえあんなに元気なのに、この上虎の肝を召しあがったら、どんなことになるでしょう」と。

ところで私もさてきて思いにけりな一そはインドの虎の肝か、泰国の虎の肝かと、想像をたくましくしながら手ぐすね引いて待っていると、二重の風呂敷に包んだ木箱入りのしろ物が、うやうやしくとどけられて来た。なるほど熱帯地方からはるばる運んでくるのであるから、せともの器に入れ、木箱のなかに密閉し、その上包装も幾重にも念を入れたのであらう。

これはこれとおもむろに開いてみると、こはいかに！

これが虎の肝かやノということであったのであるが、虎の肝というのは、これこそ愚妻と言われても仕方があるまいと思うが、実は家内が電話を聞きまちがえたのであった。

虎のキモはキモでも、小倉千尋丹念作の虎の「おキモの」であった。呵々。

(神戸大学教授)

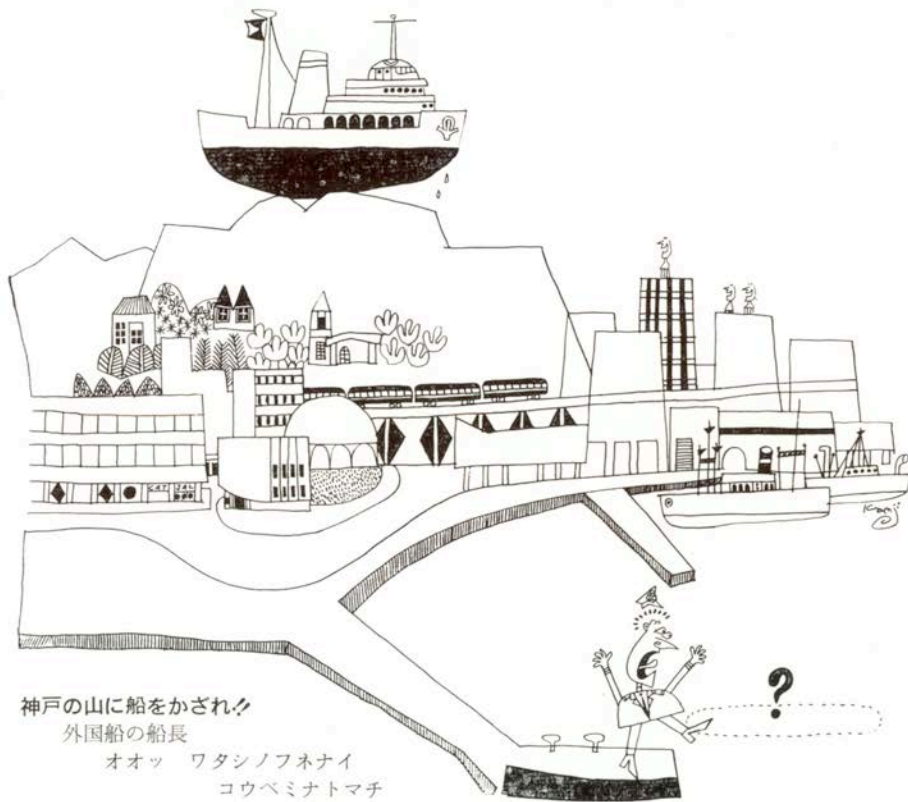




# 神戸だからえがく夢

No. 4

文・藤本 義一  
え・佐々木 侃司



神戸の山に船をかざれ

外国船の船長

オオッ ワタシノフネナイ

コウベミナトマチ

ワタシオドロイタ……

## モニユメントがほしい

戦前の日本には偉人の銅像がたぐきんあった。それは戦争中の供出で姿を消し、戦後はこれに変わって八平和の像Vとか八伸びゆく子供Vとかのモニユメント(記念の碑、像、塔、建造物)が脚光を浴びている。東京はさすがに多くそのいづれもがなかなかの出来ばえ。上京するたびに私の眼もたのませてくれる。

ところで神戸のそれだが、須磨浦公園の八みどりの塔V、海岸通り中突堤前八泉の塔Vは美しく、須磨海浜公園にはこれまた豪華な噴水と人魚像とが巧みに配されている。しかし残念なことはいずれも行楽地に多く、ターミナルやビジネスク・センターにはない。東京では駅前かその付近にあるのだがここではそうした場所が案外に利用されていない。例えば国鉄三宮駅浜側一帯と市電道路をへだてた西側、加納町三丁目の三角地帯、国鉄神戸駅前、新開地バス・ターミナルなどがすぐ思い浮かぶ。

ついでこの間、中山手六丁目山側にエタいのきれいな飾りつけが完成した。市電のなか、バスのなかから見ると、それはまるで巨大な火星人のようで、ここを通りすぎるたびに、車内から何度ながめても首をかしげた作品であった。抽象や非形象の絵や彫刻にも数多く接し、自分でも幾つかを愛蔵している。理解力をもっているつもりで

いたが、これは美しいと思えなかった。ある休日この辺りへ行ったりとき、ここに立ちどまってゆっくり観察してみると、驚いたことに、これは高い土台の上で丸く輪になり、手をつなぎあった三人の子供だったのである。

私はこの像の作者をよく知っており、神戸ではまさに第一人者だと尊敬しているが、これだけはどうもいただきかねる。抽象化された作品は、見るものにさまざまな解釈をさせる自由をすらもっているのだが、これは誰に聞いても火星人だといった。そのイメージは輪になって手をつなぎ子供たちとおよそ正反対のものだからである。しかも具合の悪いことこの場所、ゆつくり立ちどまってみ上げるような場所がらではない。ほとんどが朝夕の忙しいラッシュ時に満員の市電やバスに揺られながらアツという間に見て通る処なんである。将来、この道路が高速路線になって、自家用車が滑べるように走りすぎることにでもなればなおのこと。さらに灯をともして夜間の効果も考えられているが、灯が入ると余計に蝸入道に見える。

一方、戦前からある県庁前三角公園のとなりにある石づくりの半円形ベンチは灯火設備など一向に改修されず、左右に並んだ小さいの下にはいつもピラがベタベタと貼られている。あずまや風の休

憩所も天井が落ち、軒はくずれてとても入れたものではない。ここなど、まわりの風景はまたとない美しさで、ぜひ手入れをしてもらいたいものだ。

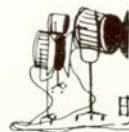
徳山市では東京の彫刻家グループの作品数十点を受け入れて野外展をひらき、そのあと市内の各所へ設置したいと聞いている。ぜひ一度見に行きたうと考えている。

神戸でもこうした方法で一挙にたくさんモニユメントを手に入れたらどうだろうか。徳山のマネをするのがいやなら、全国から作品を公募するのも一案だろう。

しかし私はそんなアイデアとはまた違った夢をもっている。北歐では背たけの倍以上もある大きな錨をそのままロータリーに飾った港街があるが、港に近い石畳みの道にピタリ合って秀逸。神戸も港都を象徴する錨、ブイ、浮き輪、舵輪などの古い産品をそのまま使ってレイアウトしたモニユメントをつくったらどうだろうか。

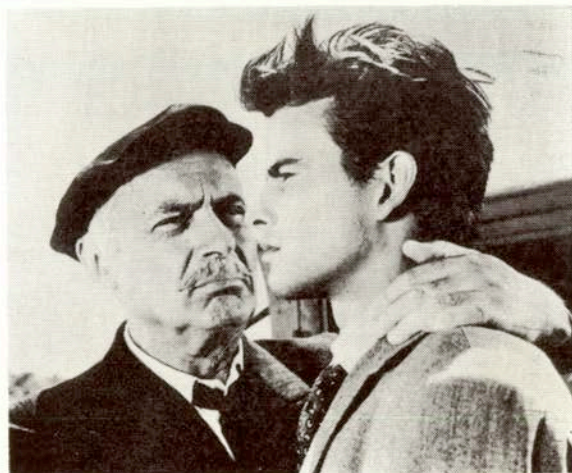
それはそれとして、神戸もいよいよ待望の高速鉄道が四私鉄をつなくことになり、市内の交通網は大きくその地図を変えようとしている。モスクワの地下鉄とまではいかなくても、せめて、東京地下鉄が地上へ出た口へ取りつけている菊池一雄の八女首Vに劣らないくらいほしい。

とにかく神戸はエキゾチックな街だということ、市民はそういううるおいを望んでいることを行政担当者は知ってほしいものだ。市民もこれについて協力を借しみたいだろう。



## 「ファニー」

川上了子



(写真はシャルル・ボワイエとホルト・ブッフホルツ)

真実の愛情は老人の犠牲の上に成り立つといった、人道主義的な内容で、全編これ心温まる人間の善意にみちあふれた映画。

愛すればこそ別れよう……と心にもなく、愛人のマリウスを海に送り出したばかりに、私生児を宿し不幸のどん底に打ちひしがれてしまった、魚市の評判娘「フアニー」が、突然ご奇徳な金持ちの老人「パニース」に想いを寄せられ、その妻に納まるといったストーリーだといえ、気の早いご仁はきつと「ああそれなら山本嘉次郎オヤジがメガホンをとり、高峰秀子、宇野重吉らが出演した、それ古い映画「愛の戯れ」の焼き直しじゃないか」と、おっしゃるが

も知れないが、実はその逆で、この映画の原作はフランス近代劇の古典、マルセル・パニョルの戯曲で「フアニー」「マリウス」「セザール」の三部からなっており、フランスではもともと愛されているお芝居で、これをアメリカで映画化したという次第。

もともとこのアメリカ映画セリフこそアメリカ語だが、出演者はフアニーに「パリのアメリカ人」「足ながおじさん」「恋の手ほどき」といったミュージカル物で売り出したレスレイ・キャロン、ご奇徳な金持ちの老人パニースにはモーリス・シュバリエ、若者マリウスの父セザールにはシャルル・ボワイエ、そして三木のり平そつ

くりの三枚目で、少々お脳の弱そうな提督と呼ばれる男にレイモン・ビュシエールといった工合にフランス映画界の芸達者連を、また海にあこがれる若者マリウスには欧州のジエームス・ディンといわれるドイツ人のホルスト・ブッフホルツと欧州系の俳優を揃えアメリカ映画ながら中味はヨーロッパのムードをふんだんにたよわせている。圧巻はフアニーに突然金持ちの老人パニースが結婚を申し込んだ事が、若いマリウスの愛情の火に油をブツかけた結果となりマリウス、フアニーの若い恋人たちは燃えあがり、波止場での月夜の逢引きから、フアニーの家での一夜の契りへと移ってゆくあたりムードの盛り上げは実に見事で、ジョシニア・ローガンの演出も一だんと冴え彼の名作「ピクニック」を数段上まわる出来。そしてマリウスはフアニーの心ならずもついた嘘に傷心の身を大洋へと乗り出してゆく……ドラマとしてもグンと盛り上がるクライマックスアベックの観客席から思わずタメ息がもれるというわけ。

残念ながら後半は少々だれ、西洋の人情話に終ってガツカリの巻きたが、全編を通じて流れる人間の善意。そして舞台のフランスの港街マルセイユはいわずと知れたわが神戸とは姉妹都市の間柄。シャトー・ディフやノートルダム・デ・ラ・ガルトなど美しい風光を存分に楽しませてくれた。

(野田高校教諭)

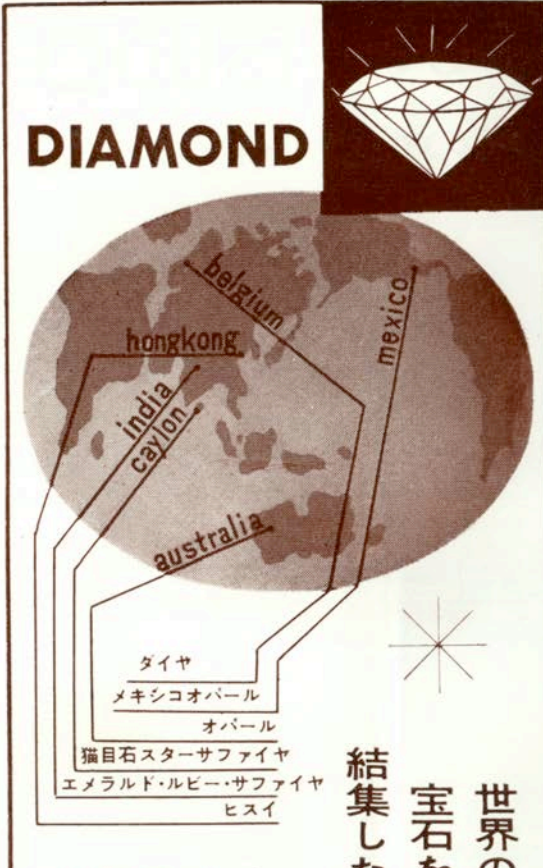




真珠を愛する人は  
真珠の美しさを  
もった人

タサキの真珠を  
選ぶ人  
それは  
心から真珠を  
愛す人!

神戸・三宮駅前 新聞会館内  
**田崎真珠店**  
TEL (22) 5646



**DIAMOND**

belgium  
hongkong  
india  
caylon  
australia  
mexico

ダイヤ  
メキシコオパール  
オパール  
猫目石スターサファイヤ  
エメラルド・ルビー・サファイヤ  
ヒスイ

世界の  
宝石を  
結集した

宝石輸入商・宝飾店

**タジマ**

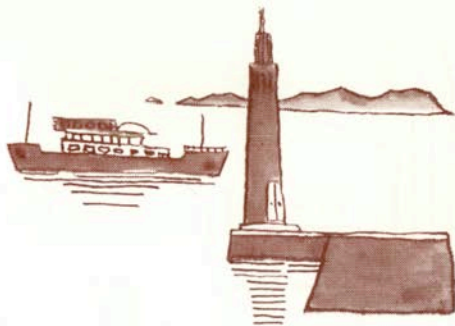
神戸・元町2丁目  
TEL ③ 0387・2552



# FUGETSUDO

港の香り・神戸の味覚

- ゴ ー フ ル
- マロングラッセ
- コウベビアー
- フランス煎餅



創業 明治三十年



## 且月堂

神戸・元町三 TEL. 神戸 ③ 695・696



金 柴田音吉洋服店

神戸・元町通四丁目 ④ 0693

大阪・高麗橋二丁目 ② 2106



# BONSOIR MADAME

マダム コンパンワ

ル フ ラ ン

ルフラン、ルフランと繰り返して  
いるうちに、開店六周年を迎えた。  
二回の改装で店の雰囲気は大きく  
変わったが、ママだけは若い。「メ  
トロ」「神戸クラブ」に始まる十  
年選手の風格は、身についてい  
るけれど…。

いまや五尺三寸五分、十六貫と  
山本富士子ばりだが、むかしから  
黒がいちばん似合う人だった。一  
本立ちになったころは、キム・ノ  
ヴァクそっくりだった。それに声  
がかわいい。「ハイ」「ハイ」の  
声も電話で聞けば、まるで女学生  
が先生に答えているようだ。

もちろん、現実はそのなかに甘く  
はない。Aクラス店のマダム業は  
中企業の経営者の資格が要求され  
るわけで、頭も切れるし、腕も達  
者でなければならぬ。文句なし  
に合格点が与えられる彼女だが、  
奈良出身の純情さは、ちょっぴり  
残っているのではなからうか。望  
みたいのは、バカになること。

この店、東宝スタアや野球選手  
も顔を見せるか、いまや神戸財界  
中堅の果となった。ホステスも変  
化に富んでいるうえ、酒好きのT  
パーテンも魅力、私生活でもすっ  
きりしたことした。生田川のホー  
プらしい活躍に期待する(ナン)  
生田新道東、地藏小路北へ入る



# レリーフ

納 おさめ

健 たけし

君



一九六二年の新年早々、納君は神戸で個展を開いた。場所が喫茶店で、列んだ作品も淡彩デッサンだったのが、彫刻家としての作品発表としては物足らなかつたが、なんだか、個展を申し入れた行つた画廊から一年間スケジュールがビッシリで割り込む余地がありません、と断られたのがカッときて、そんなら喫茶店ででも年明けすぐに列べてシンのある所を見せてやる—ということになつての仕儀らしい。

納君は、なかなか負けずぎらいらしい一面があり、その「やる気」が、ハタチ前後で美術団体二紀会の同人に推されるというみことな手腕に結実した。同会で最年少の同人と—ということで注目もされ期待もされたが、今ではそこをも飛び出して「場」というグループを

若い仲間と結成し、大阪を発表の中心にして活発に制作している。大阪が中心になるのは仲間が関西のあちこちにバラバラ居住しており、作品の反響の最も多いのが大阪だから、ということであつて、彼自身は純粹の「神戸っ子」だ。

納君の作品は半抽象。発想は人物だとか動物だとか、具体的な「物」にあるらしいが、それを思い切つてデフォルメ（変形）し、極端にいえば、何が何だかわからないような作品に仕上げていく。もちろん、この「わからない」というのは、作品の良さが—ではなく何をモチーフ（題材）にしたか—ということであつて、彼の作品を鑑賞する上には、いっ—こう障害にもならぬことである。（伊藤誠）  
2月26日〜3月5日ナショナルギャラリーにて個展を開催

# 花時計

文化の根

松井高男



京都市というところは、古い文化遺産を守る一方、新しい面でもなかなか前向きで積極的である。外人指揮者を迎えてオーケストラをつくつたり、立派なホールをもつ京都会館を建てたりしている。オーケストラは数多くの舞台芸術の中軸となるのだし、ホールはそうした芸術活動が、直接市民と結びつく場所だ。いずれも市民の精神生活を豊かにしていくための「根幹」となることである。これ京都を素通りしていた内外一流アーティストや団体を、大手をひろげて迎えることができ、同時にさまざまな催しが行われ、いわば芸術文化の生産、消費が、昨今目に見えて活発になつてきた。むしろこれらの案が出されたときには、市会でも大いに異論も出、反対もされたことだろう。だが、それを

押し切つてやつただけの成果は十分あつた。これからの市民生活でいっ—そう大きな比重を占めていくに違いないこれらの面に対する行政上の積極的なあり方が、私たちには非常に貴重なものに思われるさきほど神戸労音が、戦前にあつめた公会堂基金のゆくえなどについて市長に公開質問状を出したがこれはおそろしく古い問題をほじくり出すことが目的なのではなく、いまや公共的な性格をもつ国際会館一つ維持しかねている県市会、文化行政への熱意のほどを確かめその重要さを再認識してもらつ—ところ—に真意があるのだろうか。去年一年がかりで兵庫県下二十市の市民のナマの声を集めたが、そのなかで各市共通のもつ—とも強い要望が公会堂設立についてだ。これらの声を軽く考へてはなるまい。

（神戸新聞学芸部長）





一店紹介

## 御木本真珠店

神戸国際会館1階



(外人客が多く国際色豊かなミキモト)

国際会館の南玄関を入ると、左側に、御木本真珠の神戸店がある。明るく洋風にデザインされたウインドに、日本の宝石と謳われている真珠がズラリと並び、外人客が洒落たボーズで品定めをしている。お店をあづかっていられる、佐々木登氏は、若くて颯爽としていて、民間のトップ外交官という感じ、「現在、若い五人のスタッフで頑張っています」と歯切のいい関東弁で話される。

### 神戸は業界の中心地

生産地は三重・鳥羽のほか九州

・広島など各地で生産されていますが業界の中心地は神戸です。

生産地に近いこと、それに真珠と貿易の縁が深いものだから、県立の真珠会館を中心として、真珠の業界の総てが集まっています。御木本は戦前には元町にお店があつて阪神間の人に非常に人気があつたそうですよ。戦後は少し遅れましたが本格的には、国際会館の建設と同時にこの店が本店直営の店としてデビューさせていただきました。春と秋の観光船シーズンには重点的に海外のお客様に日本の真珠を買っていただいています。その外に神戸市内は勿論の

こと阪神間の上流家庭の皆様にも馴染んでいただいています。

### アクセサリに真珠を

最近積極的に外商も行っていきますし、BGなどの間に非常に人気があつて、力強く思っています。それでも外人客55%日本のお客様が45%というデータが出ています。

何といつても真珠は日本の宝石なので、それから、もっと日本のお客様に真珠の美しさを認識していただき、ご愛用願いたいものです。

(小泉記)

# ヤマハオルガン

いままでになかった音です  
カタチです

- 1本脚のスタイリスト
- 音が豊かになりました
- 音の変化が楽しめます



神戸もとまち

## 日本楽器

元町通2丁目 TEL. ③1631-2



## マルゼン

神戸市生田区三宮町1丁目(生田筋)

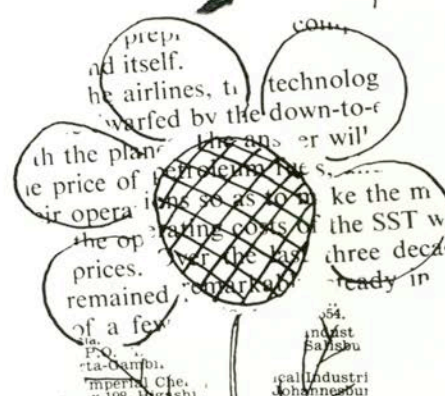
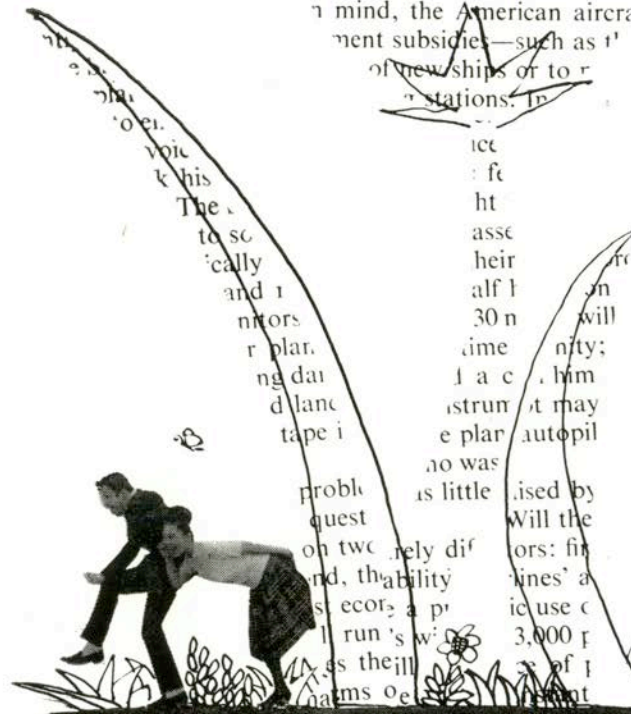
TEL. ③ 0212・5454



# Spring Has Come !!

...ket  
... sees  
... number  
... potential or  
... disc  
... e's unprec  
... at and pr  
... of the SST will probably require 12 mill  
... equipment for the SST will be inc  
... acting fabrication techniques and b  
... ability insurance during test flights  
... triple or quadruple.

... mind, the American aircra  
... ment subsidies—such as 1'  
... of new ships or to r  
... stations. In







春だ！

リズムだ

躍れ

かけれ

とんで

はねて

春を

うたおう

商品の写真右から／水玉  
ウールネップ服地・トー  
レイ洋装店／ネックレス  
皮の花、木彫り鏡・イク  
シマヤ／ナシヨナル、ウ  
オッチトランジスタ・元  
町電機／フランス製ウー  
ルプリントレース、レオ  
ナルドファッション・エ  
スターニエートン／白地  
衿に赤と黒の線の入った  
ボロシャツ・千秋堂／春  
のストライプ模様ワイシ  
ャツ・フナキヤ／黄と黒  
の大胆なデザインシル  
クブラウス地・トーレイ  
洋装店／イタリヤ製モジ  
リアーニの女の描いてあ  
るオペラバック・エスタ  
ーニエートン／フアンシ  
ーベルト春のネクタイ・  
サカエ／ジャーマン製黒  
い靴・神戸屋





輸入婦人服地雑貨の店

**エスタール  
ニーストーン**

トアロードの二八二八

アクセサリーとエッセンス

**イクシマヤ**

モーター (3) 二四五六

家ごに世々のカナル

**トリン洋装店**

新聞会館1階の二八一八

男子洋品店

**予祿**

元町四 (4) 六九五九

男子洋品の店

**フナキヤ**

元町三 (3) 三六二七

紳士洋品の店

**サカエ**

元町二 (3) 五二二二

男子洋品の店

**神戸屋**

元町二 (3) 二五八九

あらゆる電器製品の店

**元町電機**

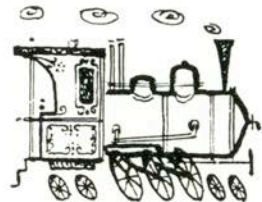
元町六 (4) 三七〇一五



オシャレをたのしむ帽子の店

マキシン

トア・ロード TEL③6711~3



PELO



MADE IN WEST GERMANY

ネクタイの

元町バザー

元町 1 ③ 1401